

## ミクロネシア連邦政府の不変の使命

**F S Mは拡大する国連安全保障理事会における日本の常任理事国としての算入を支持します。**

**ニューヨーク（国連に関する FSM の不変の使命）：2004年10月12日**

国連の総会の二日目に国連安全保障理事会の公平な会員数や、それらに関連する問題に関して討論され、ミクロネシア連邦政府は、その討論において、拡大する国連安全保障理事国の日本の常任理事国としての算入を支持しました。

正式な国連総会の討論における、火曜日に届けられた声明文において、ジーム・S・リップウィー氏はミクロネシアの代表に代わって、すべての国の代表者に今にちの現実を考慮して、特に、国際的な平和と安全の奨励における国連安保理の増加と拡大する任務を考慮して国連安保理の構成に関する新たな考慮を要求しました。

拡大し、もっとバランスのとれた国連安保理の代表者は、その任務を果たすことができるでしょうし、それらの決定は、もっと世界の多くの社会に受け入れられることでしょうし、また、世界の人々の期待に応えることができるでしょうと言いました。

持ち上がる問題に応えるため、ミクロネシアの代表は常任、非常任にかかわらず、誠実に仕える代表者からなる改善された、拡大する国連安保理を要求しました。同時に、国連安保理の委員数の増加は、その効力を妨げるものではない。

いかなる拡大するシナリオにおいて、ミクロネシアの代表者は世界の発展を唱道し、現在の国連安保理の設立、公平な議席数に限界があることを示しました。

常任理事国の国々にミクロネシアの代表者は国連の経費に関して、もっとも大きい援助国のひとつである日本を特別に考慮することを要求しました。リップウィー氏は一貫して、日本が国連に対して、そして世界的な平和と安全の維持の実質的な供給源であることを付託してきました。いかなる国連安保理の改正において、日本の常任理事国としての算入なしには不十分であり、彼は改正される国連安保理の常任理事国として、ドイツとインドも加えることを言明しました。

ミクロネシアの代表者は、また、拡大する国連の改正に関する討議において、憲章の旧式な條款に適切な削除がされることを申し立てました。そのことについては、敵国としての個条と称号は削除される時が来たのです。